

二〇一七年度 入学試験問題

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程 経営学部A方式Ⅱ日程

二限 国 語 (60分)

〈注意事項〉

- 一 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 二 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 三 マークシート解答方法については下記の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって、解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどは使用しないこと)。

一 記入例 解答を3にマークする場合。

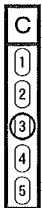
(一) 正しいマークの例



(二) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。



○でかこまないこと。

二 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。

三 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。

四 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

〔一〕 つぎの文章を読んで、後の問いに答えよ。

1 イギリスのエコノミスト誌の調査部門である「エコノミスト・インテリジェンス ユニット(EIU)」が公表した『民主主義指標二〇一五―不安の時代の民主主義』において、日本は世界で二三位、総合スコアは七・九六となり、「完全な民主主義」に分類されるために必要な八・〇〇をわずかに満たせず「欠点のある民主主義」とされた。二〇一四年版までは「完全な民主主義」カテゴリに分類されていたから、直観的には民主主義体制の優等生から転落した、ということになる。

2 このことは、現代日本の民主主義が危機的状況にあることを物語るのだろうか。1。「完全な民主主義」としては世

界に二〇カ国あるとされているが、主要国首脳会議(G7サミット)参加国の中でも、二位のイタリア、二七位のフランスは日本と並んで「欠点のある民主主義」に属しており、アメリカは「完全な民主主義」とはいえ二〇位で、総合スコアにして日本と〇・〇九の差があるに過ぎない。また、最上位にある諸国、たとえば五位のデンマークが最近のシリアからの難民に示している対応を見るにつけ、スコアや順位の高さから民主主義の安定や成熟を楽観視できるわけではないと分かる。指標が何かを正確あるいは厳密に示していると考える必要はない。

3 だからといって、このような指標は無視しても構わないともいえない。一つには、この指標を含め様々な民主主義指標が世界には存在しており、それらを国際機関やシンクタンク、大学などの研究者が広く参照することによって、間接的にはあるがその国への国際的評価やイメージが形成される。そのような評価は、やはり広い意味で国力の一部となるのである。もう一つには、たとえ厳密に測定されたものではないにしても、指標には各国の民主主義が持つ相対的な特徴が現れている可能性がある。他国、とくに最上位諸国と比べて日本の民主主義がどのような特徴を持っているのか、それは改善を要する弱点だと見なすべきなのか。そのような自己省察の機会として用いるならば、指標には意味がある。

4 EIUの民主主義指標は、「選挙過程と多元性」「政府の機能」「政治参加」「政治文化」「市民的自由」という五つの項目のそれぞれについて最大値一〇ポイント、最小値〇ポイントで数値化し、それを単純平均して総合スコアを算出するという方法で導か

れている。このような方法そのものは珍しくないが、E I U指標は大きく二つの特徴を持つ。

5 まず、民主主義の定義について実質に踏み込もうとする姿勢が明確である。たとえば、別の有力な民主主義指標である「政体指標」が公正で競争的な選挙の定期的実施などの形式面に重点を置くのに比べて、E I U指標には「政治文化」といった要因が含まれており、その背景的要因である「市民的自由」を重視するという特徴がある。政体指標や、同じくよく用いられる指標である、アメリカのNGOフリーダムハウスの指標では、日本はいずれも世界で最も民主主義的であると分類されている。

6 民主主義は選挙や政治制度に限られるのではなく、市民的自由が十分に存在し、人々が自由に物を考え、発言できる雰囲気があり、それが政策決定者に実質的な影響を与えうることが、E I U指標では高く評価される。したがって、少数者の権利保護や報道の自由などが大切だとされる。また、敗者が選挙結果を受け入れて、政権交代などの権力移行が順調に進むことも、民主主義にとって重要であるという考え方をとる。

7 もう一つは、実質的な定義を行うことと密接に関係していると思われるが、E I Uによるスコアの算定に当たっては、国際世論調査や投票率などのデータのみを用いるのではなく、むしろ専門家へのサーヴェイ(体系的質問項目によるアンケート)調査が重視されているようだ。「ようだ」と書くのは、E I Uはサーヴェイ調査対象者の国別人数や総数などを公表しておらず、その他のデータとどのような形で統合され数値化されているのかが明瞭でないためである。もともと測定が困難な民主主義の実質にこだわることとあわせ、スコアには主観的な要素が反映されやすいことは、意識しておくべきであろう。

8 E I U指標において、現代日本の民主主義はどのように位置づけられているのだろうか。表は、二〇一五年版の上位一〇カ国、二〇カ国と日本、および二〇一〇年版の日本の数値を一覧にしたものである。ここから直ちに二つのことが明らかになる。

9 一つは、日本が上位諸国に比べて低い水準に止まっているのは、「政治参加」と「政治文化」である。「政治参加」には、投票率や識字率といった客観指標、政治に関心を持つ人々や政治報道に日常的に接している人々の割合などの世論調査データと並んで、議会における女性議員比率、エスニック・マイノリティや宗教的マイノリティの自律性尊重といった項目がある。³ 「政治文化」についての質問では、たとえば、議会や選挙に邪魔されない強い指導者を持つことを好ましいと考える人々の割合など、

民主主義と強いリーダーシップや経済パフォーマンスとの関係が多く尋ねられている。

10 このうち鍵を握っているのが「政治参加」のスコアである。確かに近年の研究は、デモやストなどへの参加率が低く、投票以外の方法を含めた場合に、日本の政治参加が先進国の中では低水準にあることを明らかにしている。女性議員比率のように、通常は必ずしも政治参加の尺度とは見なされていないが、日本が他国よりも明らかに不十分だとされている指標が組み合わされることで、上位諸国とのさらに大きな差につながっている。

	総合	選挙 過程	政府 機能	政治 参加	政治 文化	市民的 自由
上位10カ国 平均	9.25	9.71	9.22	8.45	9.13	9.74
上位20カ国 平均	8.84	9.62	8.63	7.61	8.75	9.60
日本2015	7.96	9.17	8.21	6.11	7.50	8.82
日本2010	8.08	9.17	8.21	6.11	7.50	9.41

出典) EIU調査から筆者作成

11 もう一つには、二〇一〇年と一五年の数値を比べると、日本が今回「欠点のある民主主義」とされたのは、もっぱら「市民的自由」のスコアが低下したためと分かる。この点については、EIUが自ら行っている結果分析でも、二〇一三年

の特定秘密保護法成立や与党からメディアへの圧力が原因であると明記されている。二〇一四年以前のデータも公開されているので容易に確認できるが、各項目のスコアは多くの場合に前年や過去数年と同じで、何か特別だと認識されることがあると変動する。日本の場合には恐らく、専門家サーヴェイの回答者の中に特定秘密保護法などに強く反対する立場の人がいたと推測される。

12 総合的に考えあわせると、現代日本の民主主義の課題は、何よりも「政治参加」スコアに集約されている諸要素の弱さだといえよう。とりわけ、女性を含むマイノリティに十分な意見表出や利益代表の機会を与えていないという指摘は、日本社会に暮らす一人として、筆者にも否定しがたく思われる。

13 スコアとして数値化され、「完全な」とか「欠点のある」といったカテゴリー区分を行う一方で、その算出方法には疑問も残るために、EIU指標に対しては全幅の信頼を置けるとはいいがたい。「完全な民主主義」に含まれているとしても、そ

の民主主義体制に生きる人々の幸福や満足を意味するわけでもないのであって、結局はスコア算定者の民主主義観にどの程度適合しているかを示しているに過ぎないともいえる。それは、最近しばしば話題になる「世界大学ランキング」などとも共通した性質を持っており、スコアや順位表から受ける印象も似たところがある。

14 民主主義の本来の機能に対して、E I U指標を構成する五つの要素がどのような相互関係にあるのかについても、要素間の単純平均を行うだけで十分な検討がなされているとはいえない。

15 したがって、冒頭にも述べたことではあるが、スコアや順位、カテゴリーはあくまで参考として受け止めれば良く、一喜
2 すべきものではない。ましてや、大学ランキングが誤用されているように、スコアや順位を上げるために何らかの政策や目標を掲げるような発想法になるとすれば、全くの本末
3 である。

16 だが、不完全なところがあるにしても、E I U指標が日本を含む各国の政治と民主主義の現実を映し出している面があることまで否定してはならないだろう。現代日本政治を他の先進諸国と比べた場合に、依然として男性中心、文化的あるいは経済的にマジョリティの立場にある人々中心であるという指摘自体には、目を背けるべきではないのである。そして、少子化や人口減少といった、私たちが既に認識し、対応を迫られている重要な課題と、このような民主主義のあり方は、やはり深く結びついているのではないか。

17 現代日本は「課題先進国」と呼ばれることがある。社会経済的課題の多くについては、世界に類例や前例が乏しいことは事実で、そのことが人々の気持ちや見通しを暗くしているかもしれない。しかし辛いにも、本稿でふれてきた日本の民主主義の課題については、既に他国が経験し、乗り越えてきたものも少なくない。女性議員比率を増やすには政党の組織的な対応が有効であるなど、政治学による知見の集積も相当程度なされている。

18 民主主義の課題と社会経済的課題がリンクしているとすれば、有効な方策が分かっている民主主義側から課題に取り組み、そこから社会経済的課題への対応を導くという手もありうる。たとえば、女性やマイノリティの政治参加拡大を促すことは、少子化対策や移民政策の質的変化をもたらす可能性がある。

このような道筋を考えてみるのが、指標の最も「正しい」活用法なのであろう。

(待鳥聡史の文章より。ただし、文章を一部改変した)

問一 空欄 1 に入る文として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 恐らくそうに違いない
- イ 確かにそうした一面はある
- ウ そうでないことを願いたい
- エ 恐らくそうではないだろう
- オ その当否はわからない

問二 空欄 2 3 に当てはまる熟語を解答欄に漢字で記せ。

問三 傍線部1「各国の民主主義が持つ相対的な特徴」とはどのようなものをいうか。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 複数の国と比較して明らかになる、各国の民主主義の成熟度の差異。
- イ 複数の国と比較して明らかになる、政体や政治文化などの独自性とその優劣。
- ウ 他国と比較して明らかになる、その国の民主主義を成り立たせる諸要素の傾向。
- エ 他国と比較しないかぎり明らかにはならない、自国の民主主義の隠れた欠点。
- オ ささまざまな尺度で測ることが可能な、各国の民主主義を成り立たせる要素の多様性。

問四 傍線部2「民主主義の定義について実質に踏み込もうとする姿勢」とあるが、それは具体的にどのようなことをいうのか。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 「政治参加」「政治文化」「市民的自由」などの側面から民主主義の実態をとらえ、その民主主義体制に生きる人々の幸福や満足の度合いを測ろうとすること。

イ 民主主義を選挙や政治制度などの「政体」面だけからとらえるのではなく、そもそも民主主義とは何によって形成されているのかを改めて問い直そうとすること。

ウ 国際世論調査や投票率などのデータを利用し、民主主義の成熟度を数値的に測るのではなく、専門家への聞き取り調査を通じて民主主義の内実を分析しようとする事。

エ 公正で競争的な選挙の定期的実施などの形式面には重きを置かず、少数者の意思が政治に反映しているか否かに主眼を置いて民主主義の完成度を測ろうとすること。

オ 公正な選挙や政治制度のもとで、個人の自由が十分に尊重され、その意思が政治に反映される状況にあるかという面から民主主義をとらえようとする事。

問五 傍線部3「政治文化」についての質問では、たとえば、議会や選挙に邪魔されない強い指導者を持つことを好ましいと考える人々の割合など、民主主義と強いリーダーシップや経済パフォーマンスとの関係が多く尋ねられている」とあるが、このことからEIUは「政治文化」をどのようなものとしてとらえていると考えられるか。つぎの形式に従って、二十五字以上三十五字以内でまとめ、解答欄に記せ。ただし、読点や記号も一字と数える。

「政治文化」を

としてとらえていると考えられる。

問六 本文の内容と合致するものをつぎの中から三つ選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア EIUの民主主義指標において、日本の総合スコアを下けている原因は「政治参加」のスコアの低さにあり、これは日本社会における投票率の低さ、デモやストへの参加率の低さにもつばら起因している。

イ EIUの民主主義指標において、日本の総合スコアが低いのは「市民的自由」の低さにもつばら起因しており、これには特定秘密保護法の成立や与党からのメディアへの圧力が大きな影響を与えたという背景がある。

ウ 日本に対するEIUの民主主義指標を構成する各項目のスコアは過去数年間、基本的には変動はなかったが、二〇一五年の調査では「市民的自由」の低下が総合スコアを下げる要因となった。

エ 女性やマイノリティの声が政治に十分届かない状況にあるというのが日本の民主主義の特徴で、その改善は少子化や人口減少といった日本が抱える課題に対する有効な政策を生みだすことに寄与するかもしれない。

オ 男性中心の発想、経済重視の姿勢、移民排斥の世論の強い国々では、概ねEIUの民主主義指標でもスコアが低く、社会経済的課題が克服できておらず、人々の幸福や満足は低い傾向にある。

カ 「課題先進国」と呼ばれる日本は、「政治参加」のあり方を見直すことにより、直面する少子化や人口減少などの社会経済的課題をいち早く克服し、その方法を同様の課題を抱える国々に伝える必要がある。

キ EIUの民主主義指標は一つの価値観にもとづく評価に過ぎないものだから、自らの民主主義の特徴をとらえ、そのあり方を見なおす契機として用いるかぎりにおいて意味がある。

ク これからは各国が民主主義のあり方を見なおし、多様な人々の声が政治に反映されることにより、社会経済的課題を克服してゆくことが重要であるということをEIUの民主主義指標は指摘している。

問七 本文の構成を説明したつぎの文章のうち、空欄 a にはあてはまる段落番号を文章中の 2 より選び、解答欄の記号をマークせよ。

この文章は大きく分けると四つの部分から構成されている。まず、最初は l 段落で、二〇一五年の EIU の民主主義指標の結果とそれの持つ意味が記される。つづく b 段落では、EIU の民主主義指標の概要と特徴が紹介される。そのうえで、d 段落では、日本に対する評価の分析と解釈が示され、最後の f 段落では、こうした指標といかに向かいあえばよいか論じられる。

〔二〕 つぎの文章を読んで、後の問いに答えよ。

農耕は本来、土地につく生業であった。気候などの自然要素、植生や土のようす、そこに定着した文化や社会の構造、そしてそれらに規定された人びとの思想や宗教などの精神要素、これらは「風土」として一体的に捉えられる。何がどれだけ採れるかはこの風土に強く依存してきた。だから、食料の生産を全世界の平均値で論じることあまり意味はない。採れるところは採れても、採れないところでは採れない。さらに人間の社会には嗜好性や、タブーがあつたりもする。しかし農の営みは、今では世界中で同じ作物を同じように作り、流通させている。生産のキボと流通の環はどんどん拡大してきた。食のグローバル化である。それはある意味風土の否定でもある。風土の否定は、精神要素のグローバル化をもたらす。グローバル化といふいかにも聞こえがよいが、あるいは面と向かつて異を唱えにくいところではあるが、実際のところ、食のグローバル化は地域という存在自体を死に追いやりつつある。

水は低きに流れる。空気も同じである。ところが、富や情報はそうではない。これらはほうっておけば高きに流れる。つまり富めるものはますます富み、知るものはますます知る。この流れの行き過ぎをせせいし、過度の集中をただすのが政治の役割だが、古今東西、政治家は必ずしもそうはしてこなかった。富でもあり、また情報の側面をも持つ食材もまた同じである。だから、平均値でみれば十分なはずなのに、過剰なところにはどんどん集中してますます過剰になるのに、足りないところではますます足りなくなって飢餓がおきる。

グローバル化した食のシステムは、その維持のためにそれまでの時代にはなく大きなエネルギーを消費するようになってしまっている。日本を含む先進国では、単位面積当たりの生産性を上げるための化学肥料、害虫や病気の増加に対する農薬、生産資材や生産物の運搬、運搬に伴う冷凍などに要するエネルギーの消費が増大した。現代の農耕は、こうした膨大なエネルギー消費によって支えられている。ここにきて農耕は変質した。かつては、消費者自らが自らの時間を使い筋肉を使って営んできた生業は、いまや少数の生産者が石油エネルギーに依存して行う産業へとその姿を変えている。しかも今の日本では、とく

に大都市部では、人びとは食材の生産はおろか、加工や調理さえもなくなってきている。かつてのように、食べるために頭脳や筋肉を使うことがなくなってきているのである。「食の X」の極致と行ってよいだろう。

この傾向は、衣や住でもっとケンチヨである。衣では、その素材は天然素材である綿、麻、絹などから化繊にとって代わられた。自分の衣料を自ら作った人など、今の時代にはおそらくはごく少ない。この一年、糸を紡いだ、色を染めた、布を織ったり編んだりした、あるいは衣類を縫ったなどにはいかに及ばず、とれたボタンをつけたことさえもないという人が圧倒的に多いだろう。住についても同じで、自分で住む家を建てたりする機会などまったくなくたってよい。

この世界に生きるあらゆる人が「衣食住」の当事者であり、消費者である。それにもかかわらず、先進国や地域、とくに都市部では、消費する人びとは、その素材の生産のプロセスから完全に疎外されてしまっている。

ところで、わたしたちは農耕という語を安直に使うが、農耕とはいったい何だろうか。南北八〇〇〇キロメートル、東西一万キロメートルの広がりを持つユーラシアに一万年にわたって展開した農耕はじつに多様な姿をしている。それでも、農耕という人間の営みには、ある共通の性質がある。³農耕社会を満たす要件は四つある。

ひとつは、作物という、農耕の目的にあつた性質を持つ植物が存在することである。より広義にはこれに家畜を加えて考えることもできる。作物は「人間が作った植物」ともいわれるように、人間による不断の品種改良の結果できた植物である。それはある意味では文化財といつてもよい存在である。家畜についても同じで、それは人間が作った動物である。作物や家畜は、人間の介在なしには、世代を越えて命をつなぐことはできない。

二番目の要件は、作物の栽培や家畜の飼育を支える技術や資材、インフラがあることである。作物がその能力をいかんなく発揮するには、たとえば畑という耕作のための土地があり、そこに必要な水を供給する灌漑^{かんがい}の設備などのインフラや農具など道具類、肥料、農薬などの資材が必要である。

第三の要件は、社会が農耕を受け入れ、その技術や農耕にあつた制度や教育のシステム、さらにそれにマッチした文化があつて、かつそれらが世代を越えて伝わってゆくことである。

四つ目は、農耕の舞台である耕地周辺の生態系——里地^{*}が形作られていることである。農耕の場では耕地だけが必要なのではない。耕地に水を供給するための森であったり、肥料としての刈敷^{かりしき}をとる共有地などが同時に必要である。

農耕の浸透は社会の構造を根本的に変えることとなった。一番大きかったのは、農耕が必然的に人びとを定住に向かわせたところであろう。農耕というシステムは、作物を栽培する土地に人を縛りつけるシステムだから、農耕の拡大、浸透は、社会を否^{いや}が応^{おう}でも定住社会に向かわせた。もつとも、逆は必ずしも真ならずで、農耕を持たない社会が定住化しないかといえはそうではない。北米大陸の北西海岸(海の視点からすれば太平洋東北沿岸)に住む先住民のなかには、ほとんど農耕しないのにととこに定住している人びとがいる。逆に、狭義の農耕から発生した遊牧という家畜の群れを放し飼いにするスタイルが生まれた。この遊牧社会は非常に広い意味では農耕社会ではあるが、それは定住社会ではない。

定住化が進むと、定住地たる集落周辺の生態系は継続的に攪乱^{かくらん}を受けつづけることになる。モンsoonアジアのような深い森に覆われていた土地ではとくにそうだが、豊かな森を作っていた木々は伐^きられ、建材に利用され、また燃料として使われた。寿命の長い木本類^{もくほん}は適応しづらくなり、代わりに草本^{そうほん}のような寿命の短い植物たちが増えてゆく。これが里地の出現である。また、これら寿命の短い植物のなかから、のちの穀類に育つてゆくものが登場した。

定住化は、また、家財道具など道具類を発達させた。調理や保存のための土器の発達はそのさきがけである。ほかにも、木材や非生物資源である石、金属、土などが使われるようになった。移動生活者はその遊動性^{モビリティ}の維持のため、家財はとことん持たないようにするのがあつうである。定住化が進み、移動の社会が少なくなるにつれて、道具などはどんどん分化し、種類や量が増えていったことだろう。

容器の発達に伴って、食品としては保存食品などが発達をみたことだろう。家屋自体も大きく、ケンゴ^エになり、やがては、「他者のために食料を生産する」農業者の登場をみて、その専門職も登場するようになる。

(佐藤洋一郎の文章より。ただし、文章を一部改変した)

【注】

- *里地 生活利用のために人手が加えられて環境が維持されている山と、その近隣の農地や集落などを含めた地域。
- *刈敷 山野で刈った草葉を田畑に埋め、腐敗させて肥料にすること。またその草葉。
- *木本 植物学的な分類で、樹木のこと。
- *草本 植物学的な分類で、草のこと。

問一 傍線部ア～エのカタカナを漢字に直し、解答欄に記せ。

問二 傍線部「食料の生産を全世界の平均値で論じること」にあまり意味はない」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 食料の生産に関し、政治が過度の集中をたださないため、生産が過剰なところはますます過剰になるから。
- イ 現代の農耕では、エネルギーや肥料の消費量に応じた生産量になるため、平均値では収量ははかれないから。
- ウ 農の営みをグローバル化しても、食料の過剰と不足のバランスをとることができず、飢餓はなくなるから。
- エ 大量に同じ食料を生産し流通させても、各地域の風土や人びとの嗜好にあわず、受け入れられないことが多いから。
- オ 食料は、農耕を支える風土に依存しているため、すべての農地で同じように生産できるものではないから。

問三 傍線部2「グローバル化した食のシステム」とはどのようなものか。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 地域の枠を超え同じ作物を大量に作り、世界中に流通させるシステム。
- イ 膨大なエネルギー消費によって単位面積当たりの生産性を上げるシステム。
- ウ おもに先進国や都市部に見られる、人間が疎外された食材の生産のシステム。
- エ 食材を富や情報のように扱い、過剰と不足をもたらす食料の消費のシステム。
- オ 個々の風土の特殊性を統合した、国際的な食材の生産システム。

問四 傍線部3「農耕社会を満たす要件」とあるが、その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 農耕に適した作物としての植物、植物同様人間によって作られた家畜、農耕に適した制度や文化、農耕に水や肥料を供給することができる周辺の生態系の四つの要件。
- イ 農耕に適した作物としての植物、灌漑設備のようなインフラ、肥料や農薬などの資材、農耕に必要なものを供給することができる周辺の生態系の四つの要件。
- ウ 農耕に適した作物としての植物、それを栽培するための技術や資材、農耕を支える制度や文化、農耕に必要なものを供給することができる周辺の生態系の四つの要件。
- エ 農耕に適した作物としての植物、それを流通させるための技術や資材、農耕を維持させる制度や文化、農耕に水や肥料を供給することができる周辺の生態系の四つの要件。
- オ 農耕に適した作物としての植物、それを栽培するための技術の伝承、農耕にマッチした文化、農耕に必要なものを供給することができる周辺の生態系の四つの要件。

問五 空欄

X

に入る言葉として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 外部化

イ 抽象化

ウ 特権化

エ 機械化

オ 情報化

問六 本文の構成・論旨の説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 筆者は、前半で現代の農耕が地域を死に追いやっていることを告発し、後半ではなぜそうなったかを歴史的に検証し、農耕が人びとを不自然なカタチで定住化させたことが、現在の農業の状態を招いたと結論づけている。

イ 筆者は、前半で先進国や都市部での食のシステムの問題点を指摘し、後半では「ところで」と話題を転換し、農耕の原理や歴史を定住社会と遊牧社会といった区別をこえた問題として論じている。

ウ 筆者は、前半で食料が過度に集中し、飢餓が起こっている所があるにもかかわらず、それをたださな政治の無策を批判し、後半では飢餓が起こる理由を、農耕の歴史と定住化の経緯の説明によって明らかにしている。

エ 筆者は、前半では、膨大なエネルギー消費によって支えられている農耕の問題点を、農耕の成立条件を列挙して説明し、後半では食のシステム化の問題を「衣食住」の問題としてとらえ直し、人間の定住化の弊害を告発している。

オ 筆者は、前半で現在のグローバル化した食料の生産システムの問題点を指摘し、後半では農耕を成り立たせる要件、また農耕の歴史を叙述し、現代の農耕のあり方が必然的にもたらされた経緯を説明している。

問七

波線部「土地につく生業」とあるが、それはどのような営みと筆者は考えているか。本文全体をふまえて、二十五字以上三十五字以内で解答欄に記せ。ただし、句読点や記号も一字と数える。

〔三〕 つぎの文章は、八の宮（永平親王）が幼かったころの出来事を記したものである。八の宮は、村上天皇の皇子で、当時十二歳であった。これを読んで、後の問いに答えよ。

後の宮、悩ましうせさせ給ひければ、宰相、宮の御とぶらひに出し立て奉らせ給ふ。「参りてはいかが言ふべき」とのたまはすれば、「御悩みのよし承りてなん」とこそは申し給はめ」など、教へられて参り給へれば、例の呼び入れ奉り給ふに、ありつることをいとよくのたまはすれば、宮悩ましう思せど、うつくしう思しめして、「さはのどかにまたおはせよ」など聞こえさせ給ふ。まかで給ひて、宰相に、「ありつること、いとよく言ひつ」とのたまへば、「いで、あな痴れがましや」と、いと心づきなう思して、「いかで『言ひつ』とは申し給ふぞ。それはかたじけなき人を」と聞こえ給へば、「おいおい、さなりさなり」とのたまふほど、いたはりどころなう心うく見えさせ給ふをわびしう思すほどに、天禄三年になりぬ。

一日には、かの宮、御装束めでたく仕立てて、宮へ参らせ奉り給ふ。聞こえ給ふべきことを、このたびは忘れて教へ奉り給はずなりにけり。宮には、八の宮参らせ給ひて、御前にて拝し奉り給へば、いといとあはれにうつくしと見奉らせ給ふ。心ごとくに御茵など参り、さるべき女房たちなど華やかに装束きつつ出でて、「入らせ給へ」と申せば、うちふるまひ入らせ給ふほど、いとつくしければ、「あなうつくしや」など、めで聞こゆるほどに、茵にいとゆるはしくぬさせ給ひて、うち声づくりて申し出で給ふことぞかし、いとあやし。「御悩みのよし承りてなん参りつること」と申し給ふものか。去年の御悩みのをり参り給へりしに、宰相の教へ聞こえ給ひしことを、正月の一日の拝礼に参りて申し給ふなりけり。宮の御前あきれてものたまはせぬに、女房たち何となくさと笑ふ。「世語にもしつべき宮の御ことばかな」とささめき、忍びもあへず笑ひののしれば、いとはしたなく、顔赤みてぬ給ひて、「いなや、叔父の宰相の、去年の御心地のをり、『参りしかばかう申せ』と言ひしことを、今日は言へば、⁴などこれがをかしからん。もの笑ひいたうしける女房たち多かりける宮かな。益なし。参らじ」と、うちむづかりてまかで給ふ有様、あさましうをかしうなん。

* 小一条におはして、「あさましきことこそありつれ」と語り給へば、宰相、「何ごとにか」と聞こえ給へば、「今は宮にすべて

参らじ。ただ殺しに殺されよ」とのたまはすれば、「いなや、いかにはべりつることぞ」と聞こえ給へば、「御悩みのよし承りてなん参りつる」と申しつれば、女房の二十人と出でて、ほほと笑ふぞや。いとこそ腹だたしかりつれ。されば急ぎ出でて来ぬ」とのたまへば、殿、いとあさましういみじと思して、すべてものものたまはず。

(『栄花物語』より)

【注】

* 後の宮 冷泉院の後 昌子内親王。八の宮をかわいがっていた。

* 宰相 藤原濟時なりとき。八の宮の叔父。八の宮の母が亡くなった後、親代わりとなった。

* とぶらひ 訪問。

* おいおい うんうん。

* かの宮 八の宮(永平親王)を。

* 小一条 藤原濟時の邸。

問一 傍線部1「ありつること」とは何か。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 後の宮が病に臥している、という知らせ

イ 宰相が伝えたかった言葉

ウ 八の宮の日常生活

エ 後の宮に対する思慕の情

オ 宰相が教えた、見舞いの際に言う言葉

問二 傍線部2「いかで『言ひつ』とは申し給ふぞ」とあるが、宰相がこのように言ったのはなぜか。その理由として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 後の宮が病に臥していることを八の宮が理解しておらず、ただ行って帰って来たただけだったので、「痴れがまし」と思ったから。

イ 後の宮が「またおはせよ」という言葉を掛けてくれたにもかかわらず、八の宮が「御悩みのよし承りてなん」としか言わなかったから。

ウ 後の宮に対しては、「聞こえつ」という謙讓表現を使うべきであるのに、八の宮が敬語を使わず「言ひつ」と言ったから。
エ せっかく宰相が挨拶の言葉を教えたのに、八の宮が「申し給はめ」という言葉の意味を間違って理解していたことがわかったから。

オ 丁寧語を使い分けられず、後の宮に対して失礼な言動をくりかえしたのに、八の宮がそれに気づかぬまま帰って来たから。

問三 波線部A「聞こえ」B「めで」の動作の主体として最も適切なものをつぎの中からそれぞれ選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 八の宮 イ 後の宮 ウ 宰相 エ 女房たち オ この物語の語り手

問四 二重傍線部X「せ」Y「ぬ」の文法上の意味として最も適切なものをつぎの中からそれぞれ選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 推量 イ 使役 ウ 断定 エ 過去
オ 可能 カ 完了 キ 尊敬 ク 打ち消し

問五 傍線部3「いとるはしくみさせ給ひて」の解釈として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア 華麗至極な舞をご披露なさって

イ たいへん行儀よくお座りになって

ウ 相当な数の装束を身にまとわれて

エ たいそう仰々しく挨拶の言葉を述べられて

オ とてもかわいらしくお立ちになって

問六 傍線部4「などこれがをかしからん」の解釈として最も適切なものをつぎの中から選び、解答欄の記号をマークせよ。

ア きつとこの格好がおかしいのであろう

イ そのような言動をすばらしいと言えようか

ウ いろいろな言葉が趣深く聞こえて来るようだ

エ どうしてそれがおもしろいのだろうか

オ 何とも不思議なことがあるらしい

問七 傍線部5「あさましういみじと思して」を現代語訳し、解答欄に記せ。

問八 本文の内容に合致するものをつぎの中から一つ選び、解答欄の記号をマークせよ。

- ア 八の宮は、新年の挨拶の折に病氣見舞いの言葉を述べて、後の宮を啞然とさせ、女房たちに失笑された。
- イ 宰相は、八の宮を豪華な装束で着飾らせたが、後の宮の邸にいる女房たちの装束にはかなわなかった。
- ウ 八の宮が後の宮を訪れるたびに事件が起こるので、宰相は、愚鈍で粗暴な八の宮を疎ましく思った。
- エ 後の宮の邸にいる女房たちから八の宮が小馬鹿にされたと知り、宰相は、憤りつつも不憫に思った。
- オ 八の宮は、宰相から教えられた言葉とは異なる伝言をしたが、後の宮はかえってかわいらしいと思った。

